

単為結果性ミニトマト

ネ ネ

農水省品種登録第 10630 号



省 力 ！
早 生 ！
食味良好 ！

公益財団法人

園芸植物育種研究所

食味よく、早生・単為結果するミニトマト

ネ ネ

(農水省品種登録第 10630 号)

特性と栽培ポイント

品種特性

- 単為結果性で自然に着果するので、マルハナバチは必要ない。
- 赤色球形、10～15g、粘質多汁で食味がよい。
- 早生で一般ミニトマトより収穫が3～7日早い。
- 糖・酸ともに高く、標準糖度 (Brix) は8～10%である。
- 萎ちょう病レース 1、ToMV (Tm2 型)、斑点病に耐病性。

栽培のポイント

■ 標準施肥量 (関東ローム)

N = 10～15 P = 30～40 K = 15～20
Ca = 50～60 (成分量 kg/10a) 完熟堆肥 3t/10a

■ 定植適期苗

抑制栽培で第一花房の蕾が確認できる苗。

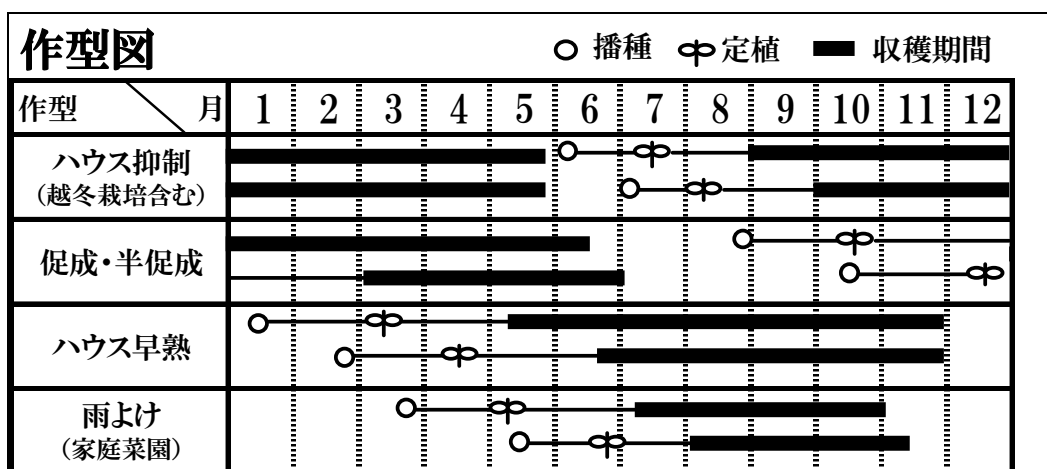
促成、半促成、早熟・雨よけ栽培で第一花房が3～5開花の苗。

■ 摘果

1果房あたり30～40果くらいに摘果すると肥大・揃いがよい。

■ 接ぎ木栽培

台木使用の際はToMV抵抗性遺伝子がTm2かTm2^a型を保持した品種を使用する。



公益財団法人 園芸植物育種研究所

〒270-2221 千葉県松戸市紙敷 2-5-1

Tel. 047-387-3827 Fax. 047-386-1455